令和８年度

# 音楽科　授業改善推進プラン

小平市立小平第二小学校

| | 課題（児童の実態、学習状況、指導の実態） | 改善プラン（課題の改善プラン、具体的な手だて） |
|---|---|---|
| ３年 | ・活発に授業に取り組む児童が多く、導入活動や歌唱活動は、元気いっぱいに取り組むことができる。<br>・今年度から始まったリコーダーでは、活動に向かう姿勢は前向きであるが、その一方で、習得にかなりの個人差がある。<br>・話を聞く、楽器の準備をする（教員の指示があるまで音を出さない）、正しい姿勢で演奏をするなどの授業規律はこの１学期でおおよそ定着できたように感じる。 | ・今後は、元気いっぱいの歌声から、少しずつハーモニーや響きを意識させた歌唱活動につなげていきたい。声掛けや、２チームに分かれて聴きあう活動を設けることで、少しずつ高学年に向けた歌声にもっていく。<br>・リコーダーの活動に関しては、１学期同様個別指導のほかに、児童同士が教え合う時間も設ける。習得の時間にかなりの差があり、早い児童とややゆっくりな児童の差をなるべく減らすために、教え合う時間を設けることで、みんなが自信をもって取り組めるようにしていく。 |
| ４年 | ・歌唱活動、演奏活動共に楽しく取り組むことができる。歌いたい！演奏したい！という意欲的な児童が楽しそうに活動することで、やや控えめな児童や、消極的な児童までもまきこみ、全体的に良い雰囲気を創り出しているように感じる。<br>・全体的に、他者と共に奏でるという意識が低く、自分だけのさじ加減で音を出すことが課題である。<br>・演奏する時間と話を聞く時間とのメリハリはだんだんとできてきたように感じる。 | ・１学期は、歌唱・器楽合奏の際に、他者の音を聴くこと、そして聴きながら演奏することの声掛けをしてきた。ボリューム調整がだんだんとできるようになり、自分以外の人と一緒に奏でているんだという意識が少しずつ芽生えてきている。２学期以降もそのような声掛けのもと、指導を行っていく。<br>・どの活動も、楽しく活動している反面、一度落ち着いて話をしっかり聞くことが課題である。そのメリハリがしっかりと身に付くよう、合図や時には待つことも視野に入れて指導をしていく。 |
| ５年 | ・明るく元気な児童が多く、男女関係なくペアやチームを作って意欲的に活動ができる。<br>・歌唱活動では、自分たちの歌声を聴き、具体的にどこを改善したらよいか、客観的に考え、それを行動に移すことができる。<br>・一方で、全体的にやや雑に取り組むことが課題であり、よりよい演奏をするために一人ひとりの意識がもう少し必要だと感じる。 | ・２学期以降も、合唱・合奏を通して、クラスが協力して良いものを創り上げる楽しさを味わわせる。<br>・一つひとつの活動に対してもう少し丁寧に取り組んでほしい。お手本となる演奏を聴かせること、そして、日ごろから、褒めるポイントともう少しと思うポイントを明確に伝えていく。また、よりよくしようと努力している児童もいるため、その児童たちの取り組みを全体に周知していく。 |
| ６年 | ・合唱練習では、クラス内で「もう少し～しよう。」「もう一度やってみよう」と声をかけあい、互いを高め合うことができている。<br>・技術面においては、多少の差はあるが、児童間で教え合うことで全体的におおよその定着を図ることができている。 | ・学習の雰囲気づくりをする児童たちや、全体をまとめてくれる児童たちを生かすことができるよう、児童への声掛けを工夫する。<br>・自主的に活動できる児童が多いため、なるべく児童からの意見をもとに進める。行事前に向けた指導では、良い点と改善点を端的に伝えることを意識して伝えていく。 |